

[第 23 回定時株主総会 主な質疑応答 (要旨)]

Q1. 株価及び風評被害対策を含めた企業イメージの向上に向けた施策は？

A1. 株価については、様々な要因が考えられるが、コーポレートガバナンスやコンプライアンスを遵守し、そして業績面で結果を出してゆくことが最大の事象だと考える。2012年3月期見通しの営業利益140億円を上回るよう尽力することはもちろんのこと、将来を約束あるいは期待させる中期事業計画及び単年度事業計画について着実に遂行していくことが必要だ。これらの諸施策をより皆様に知っていただくためのIR活動を、将来に渡り全力を尽くして実行していく所存である。
参考ではあるが、直近一年間のJASDAQ株価指数と当社株価を比較した場合、当社はプラス20%のパフォーマンスではあるが、まだ足りないというご意見もあるため、真摯に受け止めて諸施策を推進していく。

Q2. 個人株主数の増加に向けた施策は？

A2. 今後は、機関投資家はもとより、個人投資家の皆様がよりいっそう重要になると考えている。出来ることは着実に実行してきているが、ひとつの例として数年前からIRサイトの再構築に力を入れて取り組んでいる。このたび、日興アイ・アール社のWebサイト評価で新興市場1位評価を獲得した。また、アニュアルレポート2010では日本経済新聞社主催の「第13回日経アニュアルリポートアワード2010」で佳作を受賞するなど、各種ディクロージャーのあり方について高評価を頂いていると思う。

海外IRについては、私はアナリスト出身である経歴を活かし、就任以来すぐに親交が深かった欧州・米国・アジア方面の機関投資家の方々に当社の戦略や将来像についてご説明し、中期戦略にご賛同頂けるならば株主になって頂きたいと申し上げてきた。

個人投資家の皆様に対しては、とくに前年度より、札幌を皮切りに大阪、福岡など地方での会社説明会を積極的に開催し、当社を少しでもご理解頂けるよう努めている。引き続き、地道に活動を継続し株主数の増加に尽力していきたい。なお、株主数については、直近の2011年3月末で9,642名であり、約54%が個人の皆様である。

以上